

第 11 回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会議事録

日時：2014 年 10 月 23 日（木） 18:45～19:00

場所：産業医科大学ラマティーンニ大ホール

出席者（別紙参照）

報告事項（事務局 村上より）

1. 大腿骨近位部骨折地域連携パス北九州標準モデルの利用状況

平成 26 年 9 月末日までに事務局へ送信され受理した連携シートについて報告した。計画管理病院（急性期病院）は 1409 件、入院連携病院（回復期病棟等）は 1351 件であり、計画管理病院、入院連携病院の両病院より受理した患者数は 947 名、合計 1813 名（男性 314 名、女性 1499 名）の利用であった。

・集計結果（全受理データ）

計画管理病院と入院連携病院に分け、事務局の受理件数、事務局への未送信件数を病院ごとに示した。

2. 骨折型する検討

頸部骨折患者は 451 名（男性 75 名、女性 376 名）、転子部骨折患者は 467 名（男性 84 名、女性 383 名）であった。平均年齢は頸部骨折 81.9±8.9 歳、転子部骨折 84.5±7.8 歳と転子部骨折が高齢であった。受傷前の所在は、頸部骨折、転子部骨折ともに 77.4%が自宅であり、両群同じ傾向であった。受傷前歩行可能者は、頸部骨折 91.4%、転子部骨折 87.8%と転子部骨折が歩行可能者は少なかった。また受傷前、計画管理病院退院時、入院連携病院退院時の BI、HDS-R は転子部骨折が有意に低値であった。受症前自宅生活であった患者の入院連携病院退院時の自宅復帰率は、頸部骨折 79.8%、転子部骨折 70.8%と転子部骨折が自宅復帰率は低かった。加えて、受症前歩行可能者の歩行再獲得率は、頸部骨折 73.0%、転子部骨折 62.8%と転子部骨折が歩行再獲得率は低かった。

（ホームページ上の集計結果を参照）

3. 事務連絡

- ・問い合わせ内容について、報告を行った。
- ・パスシートの改訂を計画していることを報告し、改訂に対するご意見があれば連絡を頂けるようお願いした。
- ・パス継続が困難と判断された時の対応を説明した。可能な限りデータは事務局へ送信するようお願いした。
- ・異動等で委員が不在の病院は、委員変更届を提出するようお願いした。
- ・当該病院のアルファベットに関しては、事務局まで問い合わせをお願いした。
- ・退院後の連携シートの写しの FAX または郵送を、事務局までお願いした。

4. 意見

原口先生よりご意見

今後は頸部骨折・転子部骨折に対する予防への取り組みを検討していくことが重要となるとの意見を頂いた。

ご意見やご要望の連絡先

北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

産業医科大学リハビリテーション医学講座

担当職員：杉保聖子、担当医：加藤徳明，村上武史

Tel 093-691-7266

Fax 093-691-3529

E-mail: reha@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

文責 村上 武史

加藤 徳明

北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会事務局 幹事

(産業医科大学リハビリテーション医学講座 助教)

(別紙)

出席者 (敬称略)

副委員長：北九州市立八幡病院副院長 野口 雅夫

済生会八幡総合病院整形外科主任部長 リハビリテーション部部长 原口 和史

事務局：産業医科大学リハビリテーション医学講座 村上 武史 杉保 聖子

急性期医療機関：

JCHO九州病院	リハビリテーション室	林 秀俊
製鉄記念八幡病院	リハビリテーション部	小柳 靖裕
新小文字病院	医療連携室	江川 奈保美
産業医科大学病院	地域医療連携室	野田 雅美
門司掖済会病院	医療連携室	野口 美津江

回復期・一般他医療機関：

八幡東病院	回復期リハビリテーションセンター	芳賀 敏
小倉リハビリテーション病院		藤田 雅章
北九州八幡東病院	リハビリテーション科	恵村 美幸
芳野病院	理学療法科	原口 聡
戸畑リハビリテーション病院	リハビリテーション科	今別府 和徳
東和病院	リハビリテーション科	河野 修
東筑病院	リハビリテーション科	出永 文也
新生会病院	地域医療連携室	岩丸 悦子
くらて病院	リハビリテーション科	今永 真之
遠賀中間医師会おかがき病院	リハビリテーションセンター	三好 徹生
新栄会病院	リハビリテーション科	柚田 真知子
神原クリニック	リハビリテーション科	泊 政次
香月中央病院	リハビリテーション科	宮崎 達也
中間市立病院	リハビリテーション科	早野 時彦
浅木病院	医療連携室	重松 さやか
北九州湯川病院	リハビリテーション科	安田 光進
町立芦屋中央病院	リハビリテーション科	原口 泰造
佐々木病院	医療相談室	黒田 大作

協力病院・医院：

あやめの里	リハビリテーション科	志田 啓太郎
-------	------------	--------

欠席者：

委員長：九州労災病院院長 糸満 盛憲

副委員長：産業医科大学リハビリテーション名誉教授 蜂須賀 研二

事務局：産業医科大学リハビリテーション医学講座 加藤 徳明

北九州総合病院	整形外科	福田 文雄
北九州市立医療センター	整形外科	西井 章裕
九州労災病院	整形外科	畑中 均
小倉記念病院	整形外科	松崎 尚志
製鉄記念八幡病院	整形外科	藤田 秀一
JCHO九州病院	整形外科	土屋 邦喜
済生会八幡総合病院	整形外科	兼川 雄次
済生会八幡総合病院	リハビリテーション部	日野 敏明
国家公務員共済組合連合会新小倉病院	整形外科	西田 茂喜
北九州市立八幡病院	リハビリテーション室	須崎 省二
戸畑共立病院	リハビリテーション科	原田 直樹
正和中央病院		浦上 泰成
福岡新水巻病院	整形外科	金澤 洋介
正和なみき病院副院長、正和中央病院		浦上 泰成
北九州市立門司病院	地域医療連携室	前田 秀隆
北九州安部山公園病院	診療部	田中 繁
大原病院	事務部・居宅部	稲富 武志
北九州中央病院		小野 二六一
松井病院	院長	松井 豊
宮田病院	地域医療連携室	赤星 宣子
戸畑けんわ病院	内科	前田 かつよ
西野病院	リハビリテーション科	賀屋 邦彦
大平メディカルケア病院	リハビリテーション科	大橋 繁
新王子病院	リハビリテーション科	牧野 健一郎
慈恵曾根病院	地域医療連携室	小川 静江
北九州小倉病院	内科	金川 賢二
八幡慈恵病院	院長	真角 正
健愛記念病院	整形外科	田中 秀敏
健愛記念病院	リハビリテーション科	野見山 真人
新中間病院	地域医療連携室	蛙田 沙矢香
皆川整形外科	院長	皆川 敦

二島医院	院長	武 彰
こが医院	院長	古賀 雅之
しもそね整形外科骨粗しょう症クリニック	院長	中 敬彦

委員登録出席医療機関：

九州労災病院、産業医科大学病院、北九州市立八幡病院、済生会八幡総合病院、北九州総合病院、北九州市立医療センター、製鉄記念八幡病院、JCHO九州病院、新小倉病院、新小文字病院、戸畑共立病院、正和中央病院、福岡新水巻病院、門司掖済会病院

北九州八幡東病院、小倉リハビリテーション病院、正和なみき病院、北九州安部山公園病院、芳野病院、大原病院、北九州中央病院、松井病院、戸畑リハビリテーション病院、東和病院、宮田病院、戸畑けんわ病院、東筑病院、新生会病院、くらて病院、大平メディカルケア病院、新王子病院、慈恵曾根病院、北九州小倉病院、西野病院、八幡慈恵病院、新栄会病院、神原クリニック、香月中央病院、中間市立病院、健愛記念病院、浅木病院、新中間病院、北九州湯川病院、町立芦屋中央病院、佐々木病院、遠賀中間医師会おかがき病院
あやめの里

委員登録欠席医療機関：

小倉記念病院、北九州市立門司病院、皆川整形外科、二島医院、こが医院、しもそね整形外科骨粗しょう症クリニック

その他、一般出席者：

急性期病院	医師	14名	医療従事者	72名
回復期・一般病院	医師	15名	医療従事者	99名
医院等	医師	0名	医療従事者	3名
北九州市医師会		1名		
企業		2名		
学生		1名		

合計 234名